

施工説明書

雨水槽 RTN-5/RTN-8型(地上設置型)

この度はダイワ化成の雨水槽をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この施工説明書をよくご確認いただき、施工にとりかかっていますようお願い申し上げます。

目 次

施工上のご注意 2
施工の前に 4
施工手順 5
1. 外観検査 5
2. 設置場所選定 5
3. 基礎打ち 5
4. 雨水槽の据付 6
5. 雨水槽の固定 6
6. 配管接続 6
7. 送水ポンプ設置 7
8. 部品の取り付け 7
9. 試運転 8
10. 竣工検査 8
11. お引渡し 8

お客様に事故の無いよう、施工前にこの説明書をよくご確認の上正しく施工してください。

施工上のご注意

用語表示の説明

- | | |
|-----------|--|
| 警告 | … この表示を守らないと、火災や重症を負うことがあります。 |
| 注意 | … この表示を守らないと、火災や重症を負うことがあります。
怪我をしたり家財に損害を与えることがあります。 |
| 禁止 | … してはいけません。 |
| 遵守 | … 指示通りしてください。 |

注 意

槽本体の据付は専用の基礎を設けてください。
水準器等で基礎の水平を確認し、
槽本体にガタツキが内容にしてください。

この注意を怠ると、槽本体の転倒により
槽本体の破損や傷害事故が生じる恐れがあります。

槽本体は付属のアンカーボルトで
基礎と固定してください。

この注意を怠ると、槽本体の転倒により
槽本体の破損や傷害事故が生じる恐れがあります。

水の溜まるような場所へのポンプの
設置は避けてください。

この注意を怠ると、感電や漏電・火災の原因となります。
また、故障の原因となります。

散水用として使用される場合は
誤って飲用しないように表示を行ってください。

この注意を怠り飲用に用いると健康を損なう恐れがあります。

水道水給水管は凍結防止の
保温材を設けてください。

この注意を怠ると、冬季に凍結破損の恐れがあります。

ブロワ、ポンプの基礎は本体のスラブに
つなげないでください。又、寝室等の近くには
設置しないでください。

この注意を怠ると、騒音が生じる場合があります。

ボールタップへの水道水給水管の接続や
既存水道配管の盛替は管工事士の資格を
有する専門業者に委託してください。

この注意を怠ると、法律に反します。

ポンプ、切替弁、フロート等の分解や
改造は行わないでください。

この注意を怠ると、感電や漏電・火災の原因となります。
また、故障の原因となります。

ドレン抜、オーバーフロー配管は
雨水配水管に接続してください。
汚水配管へは接続しないでください。

この注意を怠ると、法律に反します。

トイレ洗浄水として使用する場合、
シャワートイレ配管には接続しないでください。
(シャワートイレには水道水を使用ください)
また、シャワートイレ一体式便器には
使用しないでください。

警告・注意

据付工事に際して槽本体の急激な吊り上げ、吊り下ろしは絶対に行わないでください。

この注意を怠ると、吊り下げ金具が破損し、傷害事故、家財の破損が生ずる恐れがあります。

可燃物の近くにポンプを設置しないでください。

この注意を怠ると、引火して火災や感電の原因となります。

工事の際、素手で本体に触れないでください。

この注意を怠ると、傷害事故が生ずる恐れがあります。

槽本体の据付は基礎コンクリートが完全に固まってから行ってください。

この注意を怠ると、槽が陥没する恐れがあり、槽本体、接続配管に破損を生ずる恐れがあります。

槽の吊り下げ、据付作業には玉掛けを確実に実施し、槽下には絶対に立ち入らないようにしてください。

この注意を怠ると、槽本体の落下による傷害事故が生ずる恐れがあります。

ポンプの電源は屋外型の防水コンセントを用いてください。また、電源工事に関しては電気工事有資格者に委託してください。

施工の前に

●設置場所の選定及び放流先の確認

- 設置場所は地盤強度:長期許容耐力1.5t以上保持していることを確認してください。
- 設置場所はトイレや散水栓とできるだけ最短距離で維持管理の容易な場所を選定してください。
- 屋内や床下等は避けてください。
- 建屋雨樋からの雨水排水管の配管勾配が確保できるように配置してください。
- 設置場所は槽本体の搬入に必要なスペースを確保してください。

●特殊設置工事の場合

※次のような場所に設置する場合は弊社にお問い合わせください。

- 軟弱地盤の地域、地盤が水位より低い地域

●部品の確認

- 施工前に必ず梱包内容を確認してください

	数量	雨水槽タイプ
<input type="checkbox"/> 槽本体 (槽本体同梱部品:施工説明書、使用説明書)	...	1 共通
<input type="checkbox"/> 手動ポンプ	...	1 RTN-H型
<input type="checkbox"/> 水中ポンプ(50Hz/60Hz)	...	1 RTN-W型
<input type="checkbox"/> 加圧ポンプ(50Hz/60Hz)	...	1 RTN-A型
<input type="checkbox"/> 固定金具一式	...	1 共通
<input type="checkbox"/> アンカーボルト一式	...	1

●別途にご用意していただくもの

- セメント、砂、砂利、割栗石、D-13鉄筋(基礎コンクリート用)
- 塩ビ配管 VU50(流入管)、同継手類
- 塩ビ配管 VP25(ポンプ配管)、同継手類
- 塩ビ配管 VP20(オーバーフロー管、ドレン管)、同継手類
- 塩ビ配管 VP13(給水配管)、同継手類
- 塩ビ接着剤

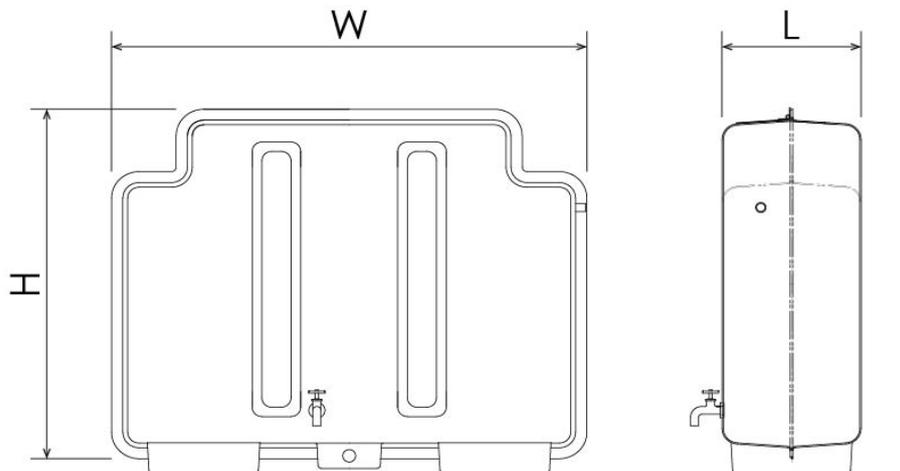
●必要な工具

- スコップ、ツルハシ等の掘削工具もしくは重機
- 測定工具(スケール、水準器、トランシットレベル等)
- 左官ゴテ、水捲き用ホースリール
- プラスドライバー
- 電工ペンチ
- カッター
- 電動ドリル、コンクリート用ドリル(φ6mm)

施工手順

1. 外観検査

- ・ 工事に入る前に槽本体の外観に、傷や亀裂等がないか十分に確認してください。
- ・ 工場出荷時には製品検査を十分に行っていますが搬送中の衝撃等で亀裂が生じる可能性がありますので再度ご確認ください。



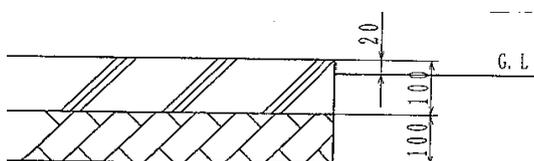
	RTN-5	RTN-8
W	1,480	1,770
L	430	580
H	1,130	1,190

2. 設置場所選定

- ・ 取水する雨樋縦管を選定してください。
- ・ 雨水槽の雨水流入穴はφ60mmで塩ビ配管50Aのサイズとなっております。
- ※ **これ以外の形状の場合は雨樋専用の継ぎ手が必要となりますので、施工された業者にご確認ください。**
- ・ ポンプ等の設置は寝室等、騒音の気になる場所は避けてください。

3. 基礎打ち

- ・ 下図の要領で鉄筋コンクリート基礎を打設してください。
- ・ 打設の際には割栗石地業を行い。ランマ等で転圧してください。
- ・ コンクリートは水準器等を使用し水平に打設してください。
- ・ 打設後は十分に養生して、コンクリートの強度を確保してください。



■コンクリート基礎寸法

	RTN-5	RTN-8
L	1,800	2,000
W	600	800

- ※ コンクリートのレベル、深さは施工計画に基づき正確に確認してください。
- ※ コンクリートが完全に硬化するまで養生してください(夏季:2日程度、冬季4日程度)

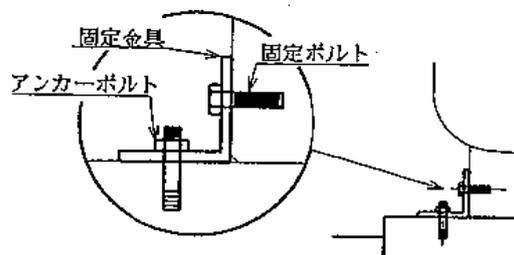
4. 雨水槽の据付

- ・ 基礎コンクリート上に雨水槽本体を据付し、設置位置を決定します。
- ※ 流入管、放流管、オーバーフロー管、ポンプ配管等の接続が可能か、十分にご確認ください。
- ・ 据付時に雨水槽本体にガタツキがないように確認してください。

※ 基礎コンクリート上に小石等の異物がないことを確認してください。
※ 槽を吊り下ろしの際、本体を引きずったり、ぶついたり、衝撃を与えたりしないでください。

5. 雨水槽の固定

- ・ 本体の転倒防止脚に同梱の固定金具(アングル)を同梱のM8ボルトで取り付けます。
- ・ 据付位置に置き、脚部に取り付けた固定金具の穴位置を基礎上にマーキングしてください。
- ・ マーキング位置に、コンクリートドリルでアンカーボルト下穴(φ8.5×4箇所)を明けてください。
- ・ 同梱のアンカーボルトプラグをハンマーでしっかり打ち込んでください。
- ・ 槽本体を据付位置に置きアンカーボルトで固定してください。

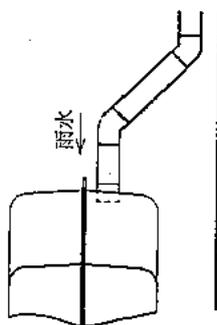


※ 雨水槽本体にガタやグラツキのない事を確認してください。

6. 配管接続

① 雨樋縦管の接続

- ・ 槽本体の流入穴(φ60)に雨樋からの縦管を接続してください。
- ・ 屈曲部を少なく、45° エルボ等でなだらかなる様に接続してください。
- ※ (90° の屈曲は避けてください)



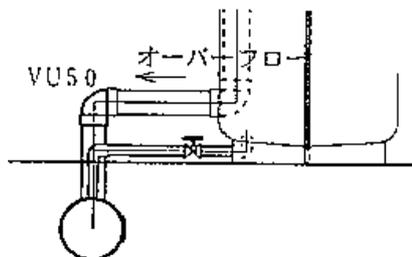
② 水道水給水管の接続(Aタイプのみ)

- ・ 槽本体の給水接続口(13A)に水道水配管を接続します。
- ・ 接続した配管に凍結防止のための保温材を取り付けてください。
- ※ 給水管はHVP13を使用してください。
- ※ 槽本体の接続前に止水バルブを設けると非常時に便利です。



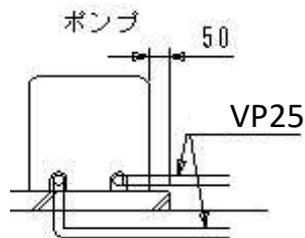
③ オーバーフローおよびドレンの接続

- ・ 槽本体のドレン接続口(20A)にドレン配管を接続します。
- ※ 給水管はVP20を使用してください。
- ・ オーバーフロー接続口(20A)にもオーバーフロー配管を接続します。
- ※ 配管はVU50を使用してください。
- ※ オーバーフローとドレンは建物の雨水排水管に接続してください。



7.送水ポンプ設置

- ・ ポンプは通気、防湿、騒音等を考慮した場所で雨水槽より3m以内になるように設置ください。
- ・ 振動防止の為、コンクリート基礎を打ち、機器の重量や振動に耐える構造としてください。
- ・ 建物基礎や雨水槽本体の上部スラブに直接つなげないでください。
- ・ GLより100mm以上高く、機器類の外形より50mm大きくしてください。



- ※ 100V電源に接続ください(200V電源に接続しないでください)
- ※ プロウやポンプは運転時に熱を持つ為カバーをかぶせたり風通しの悪い場所や可燃物、危険物の近くへの設置は避けてください。
- ※ 屋根からの雨水がかからないようにしてください。
- ※ アース端子が無い場合は、アース工事(D種接地工事)を行ってください。
- ※ 電気工事にあたっては資格が必要です。
必要に応じて有資格の専門業者さまに相談・ご依頼ください。

8.部品の取り付け

- ・ 槽本体の点検蓋を取り外すと、水道水切替タンクの中に切替フロートが梱包されています。
- ・ 梱包材を取り外し、そのまま、槽内に吊り下げのようにセットしてください。
- ・ 出荷時に切替フロートの鎖は調整してありますので、鎖の長さは調整不要です。

9.試運転

- ・ 雨水槽本体に水をためてください。
- ・ 本体の漏水がないか、オーバーフローやドレンの排水に異常はないかを確認ください。
- ・ 雨水槽への給水管のバルブを開き、水道水タンクに水道水を溜めてください。
- ・ ポンプに呼水を入れてください。
- ・ ポンプ、ブロワ、制御盤の電源を入れてください。
- ・ 散水栓、トイレへの給水が正常に行われているかを確認してください。
- ・ 槽本体の水位低下時に水道水切替タンクから槽本体に水道水が給水されることを確認してください。
- ・ 設置完了時には下記の工事竣工チェックリストで竣工検査を行ってください。

10.竣工検査

- ・ 工事完了後、下記の工事竣工チェックリストで検査確認を行ってください。

	チェック内容	結果
1	槽本体の据付にガタツキはないか	無 ・ 有
2	トイレ、散水へ確実に配管されているか	無 ・ 有
3	トイレ、散水使時に雨水が使用されているか	無 ・ 有
4	オーバーフロー、ドレンは確実に雨水配水管に接続されているか	無 ・ 有
5	ポンプの取り付けにガタツキはないか	無 ・ 有
6	ポンプの運転音が気にならないか	無 ・ 有
7	ポンプ電源は屋外用防水コンセントになっているか	無 ・ 有

11.お引渡し

- ・ 竣工検査完了後、管理者さまに取扱説明書、保証書をお渡しください
- ・ 正しい使用方法や注意事項のご説明をお願いいたします。